

木田市長の

# どしんと コミュニケーション



## 「鳥羽市とサンタバーバラ市の交流50周年」

Vol.128

鳥羽市とサンタバーバラ市が姉妹都市提携を結んでから50周年を迎えました。その記念行事のためのサンタバーバラ訪問団に24名の市民が参加してくれました。中にはサンタバーバラ訪問が5回目以上という人もいました。何度訪れてもサンタバーバラは良いところというわけでしょうか。

昔の交流は、私のイメージでは、名士と名士の交流であったように思います。しかし今日では市民間の交流のように感じます。もちろんサンタバーバラでも市長や市議会議員さん達が歓迎してくれましたが、2年間にわたる準備をしてくれたのは脇田さんやハミルトンさんなど正に市民のみなさんです。今回の記念行事にはずいぶん力が入っ

ていたように感じました。記念式典には地元の行政関係者、市民のみなさんのほか国会議員やロサンゼルス市の日本総領事まで参加していました。

サンタバーバラ中心部の公園では記念植樹が行われましたが、記念樹は鳥羽市が贈った桜の木です。交流協会の会長のリンダさんは早速、桜の下での花見を考えているようです。また各家庭に招待されるのホームビジットも訪問団のみなさんにとって楽しい時間であったと思います。5年前、45周年記念のために鳥羽市を訪れた市長はじめサンタバーバラ市のみなさんに、美味しい牡蠣をご馳走したことがありましたが、今回はそのお返しとして、サンタバーバラ市主催の昼食会を開いてい

ただき、新鮮なウニや牡蠣を振る舞ってくれました。

3日間の楽しい滞在の後、訪問団のみなさんは次のサンフランシスコとヨセミテ国立公園に向かいましたが、私達はみんなと別れてハワイを目指しました。ハワイの日系人向け放送であるKZOO(ケーズー)の生放送に出演して鳥羽市や伊勢志摩の宣伝をすることにしました。これは、東京の伊勢志摩ふるさと交流会の会長である、南伊勢町出身の三浦氏からのありがたい申し出によって実現したものです。更にありがたかったことは、その日はKZOOとFMフジという関東のラジオ局が相互に同時放送をしていて、ハワイ向け放送とばかり思っていたのに関東でも放送され、大きな宣伝効果が期待できたことでした。翌日にはハワイ向けの録音収録も済ませました。KZOO関係者のみなさんは早速、来年には伊勢志摩への旅行団を結成すると言っています。美しいハワイでの楽しい仕事でありました。



**「ご存知ですか？ 人権週間」**

市民課人権・生活係  
☎ 1411

昭和23年12月10日の第3回国際連合総会にて「世界人権宣言」が採択され、12月10日が、「人権デー」と定められました。日本でも昭和24年から毎年12月4日～10日を「人権週間」とし、啓発活動を行っています。

**人権擁護委員の紹介**  
人権擁護委員は、法務大臣から委嘱された民間の人たちです。人権相談をはじめ、さまざまな地域で啓発活動を行っています。毎月第3火曜

日の午後1時30分から人権擁護委員による人権相談を開設しています。いじめや職場でのハラスメントなどでお悩みのかたは、気軽に相談してください。相談は無料で、秘密は守られます。

**人権擁護委員** 山本英子・久保正・小中ちよう・上井千春・濱田博文・大山紀子・木下雅博(敬称略)

**人権作品展特選作品紹介**  
身近にある人権について考えてもらうために、市内の小学生から人権作品の募集を行いました。

小学生80点、中学生48点の応募があり、審査の結果次の2点が特選となりました。  
応募された全ての作品は、鳥羽ショッピングプラザハロ12階・催事場に12月12日(月)まで展示しています。



菅島小6年 松村 采伽 さん



鳥羽東中2年 山口 太一 さん